

第423号

令和元年

8月10日

# すまいるたうん



発行元  
東京新聞  
南千住専売店  
Tel.3803-1781  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
Tel.090-2657-0300

荒川区ファミリー・サポート・センター 協力会員養成講座  
参加者大募集!

「仕事で子どもの送迎が間に合わない。送迎してくれる人がいれば・・・」

荒川区ファミリー・サポート・センターは、育児の手助けができる協力会員が概ね生後6ヶ月以上小学校6年生までのお子さんの保育園や学校への送迎、保護者が帰宅するまでお子さんを預かる残業・通院・冠婚葬祭等で子どもを預かる等の育児のサポートを行っています。協力会員は有償ボランティアです。報酬720〜840円（1時間）  
「子育ての助っ人が足りません！」

荒川区内で登録されている育児の手助けを必要とする利用会員は385人、協力会員は437人（平成31年4月現在）です。核家族が増え、多くの人が仕事をもちながら子育てしています。

支援を必要とする利用会員は増えていますが、協力会員が足り無い状況で仕事と育児の両立に苦慮されている方が多くいます。

「子育ても一段落したから、空いている時間を何か有効に使いたい。」  
「子どもが好きだから」

「子育てしている人の力になりたい」

協力会員は協力会員養成講座修了者、又は小学校教諭経験者、保育士、幼稚園教諭、保健師、看護師、助産師などの育児に関する資格のある方です。二十代〜七十代以上の方が協力会員となり、特に祖父祖母世代の五十代〜七十代以上の協力会員が多く活動されています。

「今日は、あの子の来る日ね。」

夫婦で協力会員となっている方もおり、会話量が増えたとの話もあります。

できるかしらと不安があると思います  
が、協力会員養成講座で学んでみませんか。子どもの世話などについて学ぶ保育園での保育実習、荒川消防署職員による普通救命講習（心肺蘇生やAEDの使い方、応急手当等）があります。※協力会員養成講座は、年5回実施予定です。



「遠くの親戚より近くの他人」

私事ですが、私も子どもを通じて三十年来の付き合いがあるご夫婦がいます。先日、息子が孫を連れて伺い、笑顔のひと時を過ごし、絆が続いております。ずっと、子どもの成長を見守ってくれている方の存在は心強く感じます。



「きょういく」「きょうよう」「ちよきん（貯筋）」

今日、行く場所がある。今日、用事があることは身体を動かすことになります。子どもとの触れ合いは安らぎになることでしょう。「紅葉のような手」が繋いでくださる方を待っております。

まずは協力会員養成講座に参加してみませんか。



## ◆ファミリー・サポート・センター協力会員養成講座◆

8月20日(火)～22日(木) (全3回)

時間 午前9時～午後4時

場所 峡田ふれあい館 (都バス荒川区役所前下車 徒歩2分) 等

資料代1400円 (消防署テキスト代 普通救急技能認定)

※受講後、救命技能認定証授与

申込み

荒川区ファミリー・サポート・センター事務局

(イトーヨーカドー食品館三ノ輪店前 荒川区社会福祉協議会2階)

☎ (3891) 7938 FAX (3891) 5290

